

来週の「売り物」記事はこれ



2013年6月14日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大乱調市場に主婦、大学生も参戦！

アベノミクス狂騒曲 朝刊 16日（日）



昨年11月以降、円安・株高が続いた「アベノミクス相場」。ここへきて日経平均1万5000円を超えた株価はわずか1カ月たらずの間に2000円以上も下げ、円相場もあっという間に90円台という全面高に転じるなど、市場は大荒れの様相を呈しています。けれども、アベノミクスの



「呪文」に魅入られるように、個人投資家が市場という名の「鉄火場」に繰り出しています。♪踊らにヤソソソ〜とばかりに、アベノミクス相場の「波」に乗ろうとする人たちの姿を追います。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

「生きる物語～記者、ときどき患者」

朝刊 新総合面で18日（火）から



全身の筋力が低下する進行性の難病「筋萎縮性側索硬化症」(ALS)を5年前に発症した山陰放送の記者、谷田人司さん(51)＝写真・松江市＝は、在宅勤務で取材を続けながら、療養環境改善のため活動する。3年前には人工呼吸器を付け、自宅で24時間介護を受けるが、電車やバスを使って家族と一緒に積極的に外出もする。「呼吸器を付けても幸せに生きられる社会に変えるには当事者が行動しなければ」。この思いが谷田さんを突き動かす原点だ。

追悼 なだいなださんの「遺言」

「強い国」より「賢い国」に——

夕刊特集ワイド 17日（月）

「老人党」を提唱した反骨の人、作家で精神科医のなだいなださん＝写真＝が亡くなった。享年83。前立腺がんに加え膵臓がんが見つかったものの最期までその筆はさえていた。なださんは「自民党の『強い国』に対抗できるのは『賢い国』しかない」と「賢い国」の下で中小政党がまとまることを訴えた。都議選が告示され、来月は参院選を迎える時期だけに今、なださんの言葉に耳を傾けたい。



みんなの富士登山 くらしナビ面 17 日（月）から



今月、世界文化遺産に登録される見通しの富士山。これを機に「日本一高い場所を一度は踏みしめてみたい」と思っている人も多いはず。安全に楽しく頂上を目指すポイントを専門家に聞きました。1 回目の「荷造り編」に続き、「ルート編」（18 日）、「実践編」（19 日）の 3 回連載です。

日本でも「子どもの死因究明制度」を

くらしナビ面 20 日（木）

子どもが亡くなった時、原因に関係なく関連情報を幅広く記録する「子どもの死亡登録・検証（チャイルド・デス・レビュー、CDR）制度」。米国ロサンゼルスで始まったこの制度を日本にも導入しようと、小児科医らが動き出しました。米国では、例えば子どもが風呂で溺れて死亡した場合、医師らは親から 1700 項目もの聞き取り調査を行います。虐待による死亡の見落としを減らしたり、不慮の事故を防いだりすることに役立つと期待されています。



土用干しいらずの梅干しの漬け方とは…

くらしナビ面 21 日（金）



「立秋」（8 月 7 日）前の 18 日間を「夏の土用」と言いますが、この間に塩漬けた梅の実を干す「土用干し」の時期が近づいてきました。おいしい梅干しに作るためには欠かせない作業ですが、本格的に作ろうとすると手間暇がかかるほか、干すスペースを確保するのも一苦勞です。ジッパー付きの保存袋などを使えば、土用干しをしなくても手軽に簡単に梅干しを漬けられます。料理研究家に方法を教えてもらいました。